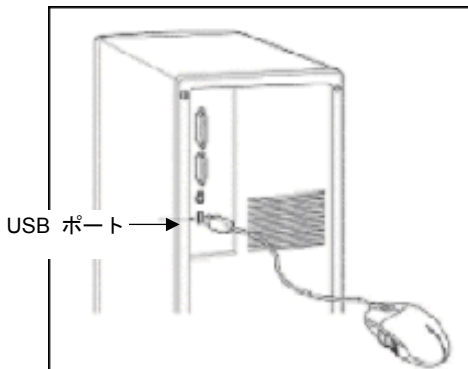


SecuGen® ハードウェア導入ガイド – EyeD™USB デバイス

SecuGen USB 指紋読取装置の接続方法



ご注意： Windows 95 及び Windows NT は、オペレーティングシステムとして USB デバイスの動作保証をしておりません。

EyeD™USB デバイスを動作させるには、手順 1 の USB アダプタの接続後、手で以下のドライバの導入が必要になります。

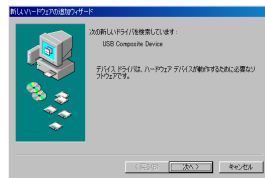
- USB 互換デバイス (マウス)
- USB ヒューマンインターフェイスデバイス (マウス)
- SecuGen FDU01x USB FRD (マウス・ハムスター)

SecuGen EyeD オプティマウス™ は、ドライバの導入が終了するまでマウスとして動作いたしませんので、お手持ちのマウスまたはキーボードで導入を行ってください。

手順 1 USB アダプタを、コンピュータ本体の USB ポートに接続します。

手順 2 デバイスがコンピュータに接続されると「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に起動し、必要なドライバを検索します。USB 互換デバイス*1 が表示されます。

手順 3 <次へ> をクリックします。



手順 4 “使用中の…”を選択し、<次へ> をクリックします。



手順 5 検索場所のチェックをせずに <次へ> をクリックします。ドライバが検出できない場合は Windows インストール CD を挿入して再度お試しください。



手順 6 必要なドライバのコピーが終了したら、<完了> をクリックします。

手順 7 次にヒューマンインターフェイスデバイス*1 のドライバインストールが開始されます。上記 USB 互換デバイスの導入と同様に、<手順 3 – 手順 6> に従って導入します。

手順 8 次に SecuGen USB*2 のドライバのインストールが開始されます。

<手順 3 – 手順 4> までは同じようにインストールを行います。

<手順 5> では、SecuGen 指紋読取装置ドライバが含まれている CD-ROM を挿入し、検索場所として CD-ROM ドライブ名を指定してください。

*1 USB 互換デバイスと USB ヒューマンインターフェイスデバイスは自動的に導入されることがあります。

その場合は<手順 8>からご参照になり、SecuGen 指紋読取装置ドライバを導入してください。

*1 オペレーティングシステム、指紋読取装置の種類により表示されるデバイス名は異なる場合があります。

*2 オペレーティングシステムの種類により複数のデバイスが検出されることがあります。EyeD オプティマウスの場合は SecuGen FDU01b USB FRD、EyeD ハムスターの場合は SecuGen FDU01a USB FRD の中から任意のデバイスを選択してください。

トラブルシューティング

・指紋読取装置の初期化は成功したが、指紋が読み取れない。

USB ポートの帯域幅に制限があるため、SecuGen USB 指紋読取装置は USB カメラや、USB オーディオ機器のような高速 USB デバイスと同時にご利用いただけません。指紋の読取を行う際は、事前に高速 USB デバイスの電源をお切りください。

・指紋読取装置に電力が供給されない。

SecuGen EyeD オプティマウス™ は、EyeD ハムスター™ よりも多くの電力を必要とします。よって、USB ハブを経由してご利用になる際は、独自に電源供給を行えるタイプの USB ハブをご使用ください。また、SecuGen EyeD オプティマウス™ は、USB キーボードに接続して使用することはできません。コンピュータへの接続、もしくは電源供給を行えるタイプの USB ハブへ接続してご使用ください。

※ EyeD シリーズ、SecuGen 社名、SecuGen ロゴは SecuGen Corporation の商標または登録商標です。その他記載された社名及び製品名は、各オーナー企業の商標または登録商標です。